

時間外受付体制見直し予算に市民ク、共産が反対

12月議会の最終日、注目された総合事務所の時間外受付体制見直しに関連する経費を盛り込んだ一般会計補正予算は、賛成21、反対6で可決成立しました。反対は市民クラブと日本共産党議員団だけでした。

採決に先立つ討論には、橋本正幸議員が登壇、総合事務所の時間外受付体

制見直しに関して、「戸籍届などの手続きが市民の住んでいる区の総合事務所で間に合う人とそうでない人が生まれることになる。合併時の、それぞれの区の総合事務所等しく市民サービスが受けられるようにするという考え方はどうなったのか」「時間外における防災行政無線の放送のうち、火災や停電

の発生、クマ目撃等に関するものは、総合事務所長の判断により、職員が登庁して対応するとしているが、11月で出される放送の中には、1分1秒の遅れが人命にかかわるものも出てくるはずだ。これまでよりも遅れる可能性がある」とあるものを認めるわけにはいかない」とのべ、反対しました。



上野議員は、えちごトキめき鉄道の運賃値上げと支援スキームのことを中心に質問を展開しました。

同議員は、えちごトキめき鉄道の運賃値上げは、鉄道施設の維持補修・設備更新に係る経費が当初の想定以上になっていることなどから、国の支援スキームの拡充が必要だと述べるとともに、同スキームが見直されるまで運賃改定を行うべきでないと訴えました。

これに対して市長は、「開業以来ほぼ横ばいで利用者が推移しているものの、特急列車の廃止や新潟方面との直通列車の減便等による影響に加え、鉄道施設の維持補修・設備更新に係る経費が当初の想定以上に多額に及んでいることなどから、非常に厳しい経営状況となっている。市としても、国に対し、更なる支援拡充を継続して要望している」「国の支援スキームが見直されるまで運賃改定を行わない場合、厳しい経営状況に一層の影響を及ぼす。見直しの確証がない中での単なる先送りは適切でない」と答えました。

同議員はまた、「トキ鉄と住民・利用者との良い関係性を構築すべき」と主張。これに対して市長は、協力関係を大切にもらえるものと思うと期待を表明しました。



橋爪議員は公立・公的病院の再編、消防、住宅リフォーム等について質問しました。

このうち、公立・公的病院の再編問題では、「病床数の削減を前提とするのではなく、各地域の実情に沿った、医療・介護サービスの提供体制の充実を図る」視点での議論が必要と主張し、厚労省の強引な進め方を批判して行動することを求めました。

村山市長は、「医療機関が担う急性期機能やそのために必要な病床数などについて再検証を求めるものであり、直ちに再編統合を強制されるものではない。冷静に受け止め、今後の動向を注視しながら対応してまいりたい」と厚労省の今回にやり方に一定の理解を示しました。

同議員は再質問の中で、県病院局の動きにも触れながら、「いますぐどうなるという問題ではない」という認識を改めるよう求めました。

店舗改装、住宅リフォームの2促進事業は、地域経済の動向を見て来年度末に廃止するかどうかの判断をするとしていますが、経済指標だけでなく、関係団体の意向も聞くことが確認されました。



国保税、公立・公的病院、トキ鉄等の問題で一般質問

橋本正幸議員は、国民健康保険税問題を取り上げ、障がい者用駐車場についても質問しました。

国民健康保険税については、「子どもが生まれると均等割が課税される」「所得の低い層ほど負担が重い逆進性になっているのでないか」「全国知事会も国に対し1兆円の財政支援と、子ども均等割の見直しなどを求めている。少なくとも子ども均等割の減免を当市でも検討すべきでないか」と質問しました。

これに対して市長は、「当市では加入世帯の6割の世帯に対し法定軽減を実施し、配慮している。保険税額は総じて累進性が確保されている中で賦課していると考え」と答えるにとどまりました。

市役所木田庁舎正面玄関の「思いやり駐車場」に屋根を、という質問には、「具体的な検討を進めていく」と答えました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.652 2019年12月22日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)